

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 49 事業名 関西国際空港関連事業（機能充実要望活動）

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	2	公共交通体系の充実
施策	2	空港・港湾機能の充実
取組	1	空港機能の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		総務費
	項		総務管理費
	目		交通政策費
	大事業		交通政策事業
事項		関西国際空港関連事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	交通政策課	米澤 範和 (435-1016)	
関連課			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	関西国際空港の立地に伴う波及効果を積極的に導入、活用することにより紀北地域の振興を図り、また、南近畿の発展のため、関空連絡南ルートをはじめとする空港周辺地域の交通ネットワークの早期整備を目指す。	地域整備をはじめとする関連事業等について、情報・資料収集、研修、調査研究、関係機関との協議、調整及び関係機関への要望等を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	817	607	772	608	663	641	670	652	670	
伸び率 (%)	-	-	-5.5%		-14.1%		1.1%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,912	1,920	1,912	1,858	1,858	1,981	1,858	1,940	1,858
	非常勤職員									
	小計	1,912	1,920	1,912	1,858	1,858	1,981	1,858	1,940	1,858
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	817	607	772	608	663	641	670	652	670	
所要人数	常勤職員	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.26	0.25	0.26	0.25
	非常勤職員									
主な予算内訳	負担金506千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度					
関西国際空港の機能充実要望活動実施回数	年度目標値	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績値	2	2	2	2	2	2	2	3
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	150.0%	
	全体目標達成度								
関西国際空港航空機年間発着回数	年度目標値	130,960	131,970	132,980	133,990	135,000			
	実績値	108,672	106,873	107,791	129,000				
	年度別達成度	83.0%	81.0%	81.1%	96.3%				
	全体目標達成度	79.2%							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	紀北地域の振興には、関空の発展及びその波及効果を導入するとともに府県間道路等の交通網整備を行うことが必要不可欠なため、関係団体と連携し、積極的に関係機関へ要望を行う必要がある。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	